

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公開番号】特開 2020-13748 (P2020-13748A)
【公開日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)
【年通号数】公開・登録公報 2020-003
【出願番号】特願 2018-136695 (P2018-136695)
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/6581 (2011.01)

【 F I 】

H 0 1 R 13/6581

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 24 日 (2020.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

< 実施例 1 >

本発明の実施例 1 を図 1 ~ 図 1 8 によって説明する。本実施例 1 のシールドコネクタ 1 0 は、自動車の高速通信用のコネクタであって、図 3 に示すように、回路基板 9 0 の表面に取り付けられる。図 1 に示すように、シールドコネクタ 1 0 は、合成樹脂製の誘電体 1 1 と、導電金属製の内導体端子 1 2 と、合成樹脂製のハウジング 1 3 と、導電金属製の外導体端子 1 4 と、を備えている。外導体端子 1 4 は、外導体端子本体 1 5 と、外導体端子本体 1 5 とは別体（別部材）の蓋部材 1 6 とからなる。なお、以下の説明において、前後方向については、図示しない相手のコネクタと嵌合する面側である図 3 の右側を前側とし、上下方向については、回路基板 9 0 に載置される面側を下側とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 5 】

また、外導体端子本体 1 5 A は、天板部 3 4 A の外面の後部に、幅方向に溝状の延びる第 2 係止受部 4 9 A を有している。第 2 係止受部 4 9 A の両端と各係止受部 4 5 A の上端との間には、外導体端子本体 1 5 A の後部両端の角部 6 7 が介在している。